

# YIFA英語落語寄席

by Laugh-Laugh-Tei



京都の「笑笑(らふらふ)亭英語落語クラブ」の皆さんに演じていただくYIFA英語落語寄席。今回は3年振りの5回目でございます。本日は師走16日の日曜日、どなたさまも落ち着かない時期でございます。なんでこの忙しくて寒いときにコミセンきたので寄席なんや、という心配は無用で、なぜか数百人未満(2桁!)ものお客様にお越しいただいてありがとうございます。いそがしい人もふとこころが寒い人も、笑えば気持ちが楽になって元気になれる特効薬が落語でございます。

らふらふ亭代表のちゃめ吉さん曰く「落語は古い伝統芸能のひとつですが、能や歌舞伎などとは違って、ざぶとん一枚で他にこれといった舞台装置は要りません。扇子一本とタオル一枚があればどんな場面も演じ分けることができますねん。あとはお客さん

のイメージ、つまり想像力次第でございます」お客様は落語に馴染みのなさそうな外国からの人もおられますので、言葉や身振りが何を表しているのかを想像する、例えば落語の中でハンサムな男性が登場したらどんな人を想像したらいいか、などというイメージングゲームをして、まずは落語を楽しむ雰囲気を整えました。

演目は一般に馴染みのある「ちりとてちん」などの他、小噺などを交えた六題でした。

6人の演者は女性と男性、年配の人とそこそこ若そうな人、外国から来日していると思われる人などが熱演しました。途中で南京玉すだれの余興がありました。広島、東京、滋賀など全国各地の名所の特徴が、お客さんも参加して玉すだれで表現されました。玉すだれも何を表しているのかには想像力が要ります。

最後は落語体験のコーナーで、初心者が落語の身振りを出演者から習いました。初めてとは思えない見事な動きでした。次回はYIFAからも出演者が出そうです。ともあれ、笑いの絶えない楽しいひとときでした。



野洲市国際協会 〒520-2395 滋賀県野洲市小篠原2100-1野洲市役所 TEL:077-586-3106 FAX:077-586-3139  
URL:http://www.yifashiga.org E-mail:yifa@gaia.eonet.ne.jp  
イーファメイト 発行日:平成31年1月15日 編集:広報部会



今年も「ハロウィンパーティー」が10月28日にコミュニティセンターきたので開催されました。今回のテーマは「ジャングル ヴィレッジ」。2日間にかけて丁寧に準備された会場は、ジャングル風に仕上がっていて、スタッフの皆さんはワイルドなターゲットコスチュームで出迎えて下さいました。思い思いの衣装姿の参加者(総勢約130名)が揃うと、会場の中はまるで別世界のようでした。

パーティーは料理持参のpotluck形式で、国際色豊かな料理がテーブルの上一杯に並べられました。ベトナム料理、タイ料理、ペルー料理等々。お皿を手に珍しい料理に舌鼓を打ちながら作り方を教えてもらったり、色々話も弾んで、気が付くとお腹一杯になっていました。舞台では、2本縄跳び「ダブルダツ



チ」で世界レベルのかわいいパフォーマンスがあり、元気な子どもたちも順番に参加させてもらって、大いに盛り上がりました。

次に行われたハロウィンならではの「Trick or Treat」では、4つの部屋(ブードゥー、インディジョーンズ、ゾンビ、ピエロ)が用意され、子どもたちは部屋を順番に回ってゲームをしたり、踊ったり、驚かされたりしながら、「トリック オア トリート!」と言って、お菓子をたくさんもらいました。

最後に衣装賞が発表されて、かわいいプリンセスや、なりきりキャラクター、ぼろぼろ服のゾンビやどくろ仮面などなど、趣向をこらした衣装が勢ぞろいし、豪華賞品が贈られました。まだまだ名残惜しいパーティーの閉会は、この時のために用意された火山模型の噴火パフォーマンス。レインツさんが液体を注ぐとあら不思議。溶岩もどきが山から流れ出しました。参加者も大喜び。来年も何かあつと驚く企画を用意されるとか。

初めから最後まで楽しさ満載。充実のハロウィンパーティーでした。



## Toriの英語で Point Lesson! ネイティブが間違える英語編

英語を話している日本人は英語の国に育った「ネイティブ」に対して憧れを持っているようですが、実は英語を母国語とすることだけで、完璧な英語を話さずにはありません。今日は日本人の英語学習者が殆どしないのに、ネイティブがよくしてしまう英語のミスを紹介したいと思います。

ネイティブの間に一番よくある間違いは同音語です。有名な例を上げると you're と your, they're と their と there, which と witch など、たくさんあります。発音が一緒なので、早くタイプしていると、無意識に間違えたスペルにしてしまうことが意外に多いです。

二番目に多いパターンは「メール語」を公式な場合に使うミスです。最近の若者は普段メールや SNS で言いたいことをとにかく早く伝えるためにできるだけ略して書きます。例えば、for を 4, you を u, why を y, because を b/c など、決まったメー

ル略語を使います。その影響で学校の作文やテストにまでメール語を使ってしまって、点が落ちる子が少なくありません。

以上二つの例は書き言葉の違いですが、最後に話し言葉でネイティブがよく間違える英語を紹介します。こちらは間違えていると知りながらも、よく耳にして、自分も言ってしまう地方弁みたいなものです。こちらのパターンでは文法ルールを破ることから作り言葉を使うことまで、数えきれないほど例がたくさんあります。私でも "There is three dogs outside." のように、複数形の名詞にたいして単数形の動詞を使ったり、"He been out there a long time!" のように重要な文系を略して喋ったりするミスが多くあります。

日本人は最初から丁寧に英語を覚えていきますので、こういった間違いが癖になることはないでしょう。羨ましいことです!

子どもと作る **世界料理教室** ハンガリー編

日時: 1月27日(日) 10:00~14:00

場所: コミセンきたの

参加費: YIFA会員 700円  
非会員 1,100円  
5歳~中学生 600円

講師: 藤田 アニコーさん(ハンガリー出身)

定員: 25名(先着順)

**日本語指導者養成講座** ~指導を始める人向け~

日時: 2月2日(土) 13:30~16:30

場所: コミセンやす

講師: 浅井 華代先生

内容: 「初心者コース~第二弾」

参加費: YIFA会員 無料  
非会員 1,000円

**日本語指導者&学習者トーク会**

日時: 3月10日(日)

指導者のみ 13:30~15:00  
指導者&学習者 15:00~16:30

場所: コミセンやす

参加費: 無料

お茶やお菓子を食べながら、みんなで楽しく日本語でお話しましょう!



## カルチャー教室

# 和菓子作り編

日本の伝統文化を学ぶカルチャー教室が、9月2日、コミュニティセンターきたので開催されました。今回は、創業明治18年、野洲にある梅元老舗の梅景俊之さんに和菓子作りを教えていただきました。

まず最初に栗わらび餅を作りました。鍋にわらび粉を入れ、水と上白糖をその都度混ぜながら加えて火にかけます。沸騰したら熱湯を加えて勢いよく練ります。これを「本がえし」と言います。さらに刻んだ栗を加え、きな粉の上で一つずつの大きさに分けます。少し冷まして、餡を包んだら出来上がり。最初に先生にお手本を見せていただき、24名の参加者もそれぞれの調理台で作ってみました。



次は茶席生菓자에挑戦です。

次は茶席生菓자에挑戦です。

練り切り(こし餡)を使って菊の花を表現した2種の菊づくしを作りました。一つは「二重つつみ」という技法を用い、白の餡でピンクの餡を包みます。その中にこし餡を包み、濡れ布巾で包んだら、くるくる絞って中心を押します。花芯と葉を乗せて完成！白餡からピンクの餡が透けて見える菊の花が出来ました。二つ目は、白餡を包んだピンクの練りきりに三角ペラで切り込みを入れて菊の花弁を表現します。和菓子職人は、三角ペラを使っていろいろな花を表現するそうです。参加者も、それぞれの菊の花が出来上がりました。



来日して18年の入谷ガルーさんは、「和菓子を作ったのは初めてで、先生のように上手にはできなかったけど、きれいな和菓子が作れて嬉しい。もっと習ってみたいです。」と言っていました。親子で参加した宮本ナンさんは、「和菓子は手がこんでいて難しいイメージでしたが、思っていたより簡単にかわいい和菓子ができました。」と喜んでいました。



親子で参加した宮本ナンさんは、「和菓子は手がこんでいて難しいイメージでしたが、思っていたより簡単にかわいい和菓子ができました。」と喜んでいました。

## ワールドウォッチング



# カナダの魅力 ~メープルシロップを越えて~



紅葉も終盤の12月2日、県国際交流員のエミリー・ラモン・カルディナさんを講師に迎え、ワールドウォッチングを開催しました。カナダでは10月が紅葉なので、この時期の紅葉に驚いたというエミリーさん。母国で日本のアニメ「セーラームーン」に出会い、高校1年生で堺に留学したり、オタワの日本語学校で日本語を学んだりしたそうです。今は英仏の翻訳業務や滋賀県の文化体験、出前講座などを行っています。多様な民族で構成されているカナダは文化や生活が様々ではないので、今回はエミリーさんの出身地であるケベック州の気候や文化を中心に語ってくれました。

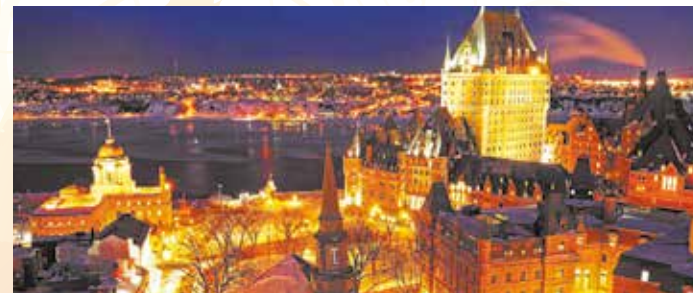
カナダと言えば、メープルシロップ、寒い国、アメリカとあまり変わらないというイメージを持っている人も多いと思います。しかし、カナダにも四季があります。5月になると一斉に花が咲き始め、チューリップ祭りも開催されます。夏は野菜や果物が美味しいそうです。日本に来て一番残念だったことは果物が高いこと。朝食に必ず果物を食べるカナダは、特にベリーが豊富です。秋はエミリーさんが一番好きな季節で、紅葉はもちろん、10月のハロウィンも楽しみだそうです。子どもも大人もコスチュームを楽しみ、パーティーをします。雪はクリスマスの頃に降り始め、3、4月まで融けません。日が短く鬱になる人も多いのですが、クリスマスや新年のヌーベル・アン、2月のバレンタインデー、4月第3日曜日のイースターとイベントが続き、楽しみもたくさんあります。

公用語は、他の州は英語ですがケベック州ではフランス語。そのためエミリーさんも小学4年生までは英語が話せませんで

た。学校は小学校の6年間と中学・高校の5年間の後、セジョップと呼ばれる2、3年間のカレッジ課程に行きます。このセジョップはケベック州独自のもので、ここで興味のある分野を見つけ、その後、働いても良いし、進学をしてさらに専門的に学んでも良いという制度で、授業料が安いのだそうです。

人口は日本の3割、アメリカとの国境沿いに集中して住んでいます。特に首都のオタワ周辺にはトロント、モントリオールがあり人口の半分を占めています。移民の国ですが、その内90%が白人、次いでアジア人で、第3公用語が中国語です。ただ、家庭で話されている言語は200語以上あります。先住民(イヌイット族など)は人口の4%です。宗教はキリスト教が多いのですが無宗教の人も多くいて、クリスマスでも教会に行かない人が結構いるとのことでした。

自然豊かなカナダの魅力は語りつくせません。多くの動物、フランスの香りがするケベック州や大都会、西のロッキー山脈、中央のプレーリー(草原)など。オーロラも見られるカナダは、一度は訪れたい国です。



## ようこそゲストティーチャー

# 異文化交流の楽しさ

YIFAでは、市内の小中学校、保育園や幼稚園へ国際理解推進教育支援の為にゲストティーチャー派遣を行っています。子ども達は、色々な国のゲストティーチャーの話を聞き、文化や学校のことに変な興味を持っています。バングラデシュ、ボリビア、ブラジル、中国、カメルーン、カナダ、ハンガリー、インド、イタリア、モロッコ、フィリピン、韓国、米国、ベトナムの紹介をしました。2学期までに20人の外国人がゲストティーチャーとして野洲市に来られ、65回活動をしました。その間、延べ1,944人の子どもに会いました。時々一緒に給食を食べながら、ゲストティーチャーに色々質問して海外の文化などが分かってもらえてとてもよかったです。また、3学期にも保育園や幼稚園で交流する機会に恵まれ、幼児と英語で遊ぶことを楽しみにしています!

ゲストティーチャーとの交流を通じて、子ども達は外国語学習に大変意欲を持ち、英語が前よりも好きになり、さらに異文化への興味が増えていっているようです。野洲市の義務教育では、英語の先生は日本人です。ゲストティーチャーと話すことによって今までの練習の成果を発揮できます。「外国人と話すことができ、すごくうれしい」と子ども達は言っています。最初はあまり自信が



なさそうでしたが、やってみれば伝わってすごく楽しそうでした。外国人との経験は、子ども達にずっと鮮やかな印象として残ります。滋賀県で外国人と会うことはあ

まりありません。だから知っている単語を使えると嬉しくなるそうです。外国の人と初めて触れ合った子どもが多く、「ゲストティーチャーと次に会う時には、もう少し分かるようになっていたい」と言っています。

私はゲストティーチャーが次の世代に外国の生活様式を伝えるためのお手伝いをしています。その活動を通してゲストティーチャーといつも良い雰囲気になりますが、この2学期もその通りの充実した時間になりました。私はアメリカの田舎の方に生まれて、子ども時代は白人ばかりでした。外国人と出会うことはめったになく、また、外国からの移民と出逢った時には、彼らの考えは私達とは全く異質のものであることに驚きました。本当の外国の人としゃべることは、とても緊張しますが、しゃべった後は達成感があ



ります。私達は他の国では皆が外国人です。だから自分とは違う文化や考え方を尊重する姿勢を学ぶ必要があります。今後も多くの国を紹介していきたいと思います。

(レインツ)

## 英語サロン超入門

英語サロン超入門クラスは、講師ヴァネッサの満面の笑顔、はっきりした口調、豊かな表現で、とても解りやすいです。まだまだ超入門の入口に立っている私は、ヴァネッサの表情を頼りに英語を理解しているつもりになっています。

学習は、先生の「How are you?」「How's the wether today?」など生徒へのごく簡単な問いかけからやりとりが広がっていきます。生徒は、訊かれると「しゃべらなくっちゃ」と口をもごもごさせてしまいますが、先生は「シンプルに」「ショートで」

と私たちが話しやすいように身ぶり手ぶりでアドバイスしてくれます。また、カードを用いた生徒同士の質問では、答える順を先生の国オーストラリアのジャンケンで決めます。4拍子のリズムで数えながら(英語で)、3拍目でジャンケンをします。勝った人が質問の先頭になりますが、なかなか決まらず10を超えると舌がもつれて手と口が合わなくなってきたりします。そんな時は、皆大笑いでジャンケンのやり直しです。

笑いの絶えない超入門クラスは、遊び感覚で少しずつ前へ進んでいく楽しいクラスです。長ーく続きますように。

(佐藤裕子)



YIFA YIFA YIFA 私たちは国際交流事業を応援しています YIFA YIFA YIFA

ISO 9001・ISO 14001 認証取得工場

つくる喜び 認められる喜び

営業マンのいない合成樹脂受託製造専門会社

**ライトケミカル工業株式会社**

代表取締役 富村 俊介

野洲市三上前田川原2251番地 TEL:077-588-0589

<https://www.lightchemical.co.jp/> ライトケミカル 検索

弊社の動画を観たいだけなら

## 野洲市金融協議会

滋賀銀行 滋賀中央信用金庫  
関西アーバン銀行 JA おうみ富士